

ジャパン・マイコンカーラリー2008

東海地区大会開催要項

～ 一般の部用 ～

- 1 目的 マイコンカーラリー競技をとおしてメカトロ技術の基礎・基本の習得、自発的・創造的な学習態度の育成を図るとともに、ものづくりによる課題解決型教育を推進し、新技術への夢を育む。
- 2 主催 全国工業高等学校長協会、東海地区工業高等学校長教育研究会
- 3 主管 マイコンカーラリー東海地区大会実行委員会
- 4 協賛 (株)ルネサステクノロジ ほか
- 5 開催日時 平成19年11月 3日(土) 試走会 14:00～17:00
平成19年11月 4日(日) 競技会
高校生(Basic含む) 受付 8:30
競技開始 9:45 終了予定 16:00
一般 受付 12:00～12:30
競技開始 12:40～(2回走行) 終了予定 13:00
- 6 会場 岐阜県立岐阜工業高等学校 体育館
〒501-6083 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700
TEL 058-387-4141 FAX 058-387-4019
- 7 大会運営 ジャパン・マイコンカーラリー大会競技規則及び大会運営規則に基づき実施する。
- 8 競技方法 競技は2台並走のタイムレースを2回行い、タイムの良い方を記録とし、順位を競う。

9 大会日程

11月3日(土) 試走会

13:00~	会場設営
14:00~17:00	高校生 試走
16:30~17:00	一般の部試走(2コース中1コースのみ)

※11月4日は、試走できません

11月4日(日) 競技会

8:30~9:00	受付
9:00~9:20	A、Bグループ車検
9:20~9:40	開会式
9:45~10:15	A、Bグループ走行 (C、D車検)
10:15~10:45	C、Dグループ走行 (E、F車検)
10:45~11:15	E、Fグループ走行 (Basic A、B車検)
11:15~11:45	Basic A、Bグループ走行 (Basic C、D車検)
11:45~12:20	Basic C、Dグループ走行
12:20~12:40	時間調整および昼食休憩(顧問会議)

(試走はできません)

一般	受付 12:00~12:30
	競技 12:40~
	競技終了後 閉会式

12:40~13:00	(A、B車検)
13:00~13:30	A、Bグループ走行 (C、D車検)
13:30~14:00	C、Dグループ走行 (E、F車検)
14:00~14:30	E、Fグループ走行 (Basic A、B車検)
14:30~15:00	Basic A、Bグループ走行 (Basic C、D車検)
15:00~15:30	Basic C、Dグループ走行
15:45~	閉会式

- ・試走のコースと競技会のコースとでは、走行方向等やクランクマーク位置等が一部変更されます。
- ・走行は、INスタート、OUTスタートの2回で行います。
- ・1回目走行のグループ決定は事務局の裁量によるものとします。又、グループ内のINスタート、OUTスタートも事前に事務局で決定します。
- ・2回目走行はINスタート、OUTスタート毎に1回目の完走タイムの遅い順にグループ分けをします。
- ・前日の試走会に、遠慮なくご参加下さい。
- ・その他競技規則は、全国大会に準じます。

10 注意事項

(1) 車検方法について

1) 全国大会での車検方法

- ・車検用検査用紙でタイヤ自身の粘着性を判断する。
- ・静電気の有無による吸着の判断は、その状況により判断し対応する。

2) 地区大会での車検方法

- ・全国大会の車検方法に準拠。
- ・車検を厳しくする方向では、変更可能。

3) 最低地上高のチェック方法

- ・上り下りコースパーツの凸凹部を使用し、マシンを手動で通過させる。
- ・前述の動作において、センサー（含タイヤ）以外はコースに接触してはならない。ただし、2輪タイプで接触時にコース保護材をつけたものはタイヤの一部とみなす。尚、車検時、センサー部においてコースを傷つける可能性が確認された場合は、保護材等で対処してもらう。（エンコーダやリミットスイッチ、センサーも）

(2) 競技規則及び審判マニュアル等の確認について

1) 電源

- ・単三アルカリ電池または単三2次電池1.2[V] 8本以内
- ・オキシライド乾電池は使用禁止。
- ・電気二重層コンデンサの使用は不可とする。※バックアップ電源等の用途で販売されている電気二重層コンデンサ等の大容量キャパシタは、使用不可とする。（公称容量がF[ファラド]で標記されているものは不可）

(3) コースレギュレーション及び競技内容について

- 1) 規定コース上を走行するタイムレースとし計2回走行できる。
- 2) 車検に合格したマシンに限り競技に出場できる。
- 3) 競技者は、スタートラインにマシンの先頭をセットする。

※マシンのセットとは、駆動系（モーター、駆動部）が静止している状態を意味する。

- 4) スタートバーが開き始めたことをマシンが自動検出しスタートする。ただし、競技者の操作によるスタートも認める。
- 5) スタートバーが開くと同時にタイマーが計測を開始する。ゴールは、タイマーセンサーの反応で計測を終了する。
- 6) スタートバーが開く前にマシンによりタイマーセンサーまたはスタート開センサーが反応した場合、マシンがスタートバーに触れた場合及び審判がフライングと判定した場合フライングとする。
- 7) 他車に追い越されそうになった場合は、審判の指示により競技者が自車の持ち上げを行う。
- 8) 追い越されたマシンはレースの直後に再走行（単独走行）ができる。

(4) その他

- 1) 本体の規格等は、全国大会のルールに従います。詳しくは、MCR公式Webページの<http://www.mcr.gr.jp/current/2008/main01.html>をご確認下さい。
なお、Basic Classに関しても同様に、
http://www.mcr.gr.jp/current/2008/basic_class.htmlをご確認下さい。
- 2) 車検後は、待機エリアから出る事が出来ません。
- 3) 車検後は、マシンの改造、プログラムの転送はできません。
- 4) 本校の電源を用いた電池の充電は、禁止します。

- 5) 試走
 - ・ 2名ずつスタートさせる方法で、順番に行います。
 - ・ コースの途中からの試走はできません。
- 6) 競技会
 - ・ コールされた時点で、スタート位置に現れない場合、失格とする。
 - ・ スタートの合図が終了した後、10秒たってもスタートできないマシンは、失格とする。(東海大会特別ルール)
- 7) 大会までに問題点が生じた場合、事務局で協議しメールにて連絡します。
- 8) 昼食用売店の出店を業者に依頼中です。
- 9) 高校生の手本となる行動をお願い致します。
- 10) 校地内全面禁煙です(内外含む)。
- 11) 上履きをご持参ください。

11 学校案内図等

名鉄名古屋本線・竹鼻線
笠松駅下車 徒歩約5分



